

令和元年度第1回「人吉市地域公共交通活性化協議会」結果報告

期 日：令和元年7月18日（木）

時 間：10:00～11:00

場 所：中小企業大学校 人吉校 2階 大教室

出席者：別紙名簿のとおり

結果：すべて承認（各議事における要旨は以下のとおり）

議事（1）：平成30年度事業報告について

議事（2）：平成30年度決算報告及び監査報告について

（意見等なし）承認

議事（3）：令和元年度事業計画（案）について

議事（4）：令和元年度予算（案）について

（人吉市老人クラブ連合会：三倉委員）

- ・資料6ページ、事業計画の拠点等に関する施策・事業（6）人吉IC利用者に対するパーク＆バスライド駐車場の確保とあるが、新しくできるスマートインターには及ばないのか。

（事務局）

- ・8月にスマートインターが開通するが、バスの乗り入れがなく、乗降がないので、駐車場を設ける予定はない。

（松田会長）

- ・8月10日にスマートインターができるが、バスが停まるのは人吉インターのみで、スマートインターには停まらない。

（人吉市予約型乗合タクシー運行事業者：北委員）

- ・事業計画があり、事業費は0円となっているが、事業費が必要になった場合は予備費を充てるのか。

（事務局）

- ・事業が具体化したら、協議会を開催し、補正予算を行う予定で、予備費から充用するか、足りない場合は、市の補正予算等に対応する予定。

（人吉市予約型乗合タクシー運行事業者：北委員）

- ・軽微な予算執行については、付帯事項として、事務局一任というような一任を取り付ける必要はないか。

（事務局）

- ・軽微な変更にあたっては、文書協議等の事務の進め方を考えており、その際は委員の皆さまに通知する。

（熊本運輸支局：岩本委員）

- ・1月の協議会で聞いたかもしれないが、永野地区と大畑地区で実施した乗合タクシーは、今後どのような方向性、進め方、スケジュール感でいくのか。懇談会の結果報告もあれば充実したものになったと思うが、どういう方向性を持って、結果を生かしていくのか。

- ・ 出前教室が事業計画にあるが、例年やっていて、今年実施する所の順番等の計画があるか。出前講座の中身について、バス会社がやるものから、小学生向けの利用促進の広報的なものを作る等色々なケースがあるが、どのようなものを想定しているのか。例えば、こういった施設で、小学生だったら何年生向けにやったら効果的かといった思い、計画があれば聞かせてほしい。
- ・ 出前講座に「自転車を活用した」と説明があったが、グリーンツーリズムの関係か。公共交通との関連はどういったものか。

(事務局)

- ・ 永野地区、大畑地区の実証運行を受けて、今後どのようなスケジュール感で、そのような取り組みを行うかという質問については、永野地区は公共交通機関のない地区で、座談会を行った際には「なんらかの形で公共交通の運行を行ってほしい」とのご意向があった。大畑地区は、元々路線バスが走っていた所で、路線バスの廃止を受けて、現在予約型乗合タクシーを運行している中、ドアツードアの実証運行を行ったが、路線バスの復活を望む声、予約型乗合タクシーの運行を継続してほしいという声、路線から離れた方はドアツードアでの運行を望む声といったように、意見がばらついており、集約が難しい。少しでも、交通の便を確保するためには、少しでも利用しやすい方法を検討しており、費用の積算をしており、市の財政当局、乗合タクシーの運行事業者様と協議を行いながら、費用の精査をしたい。年度内には結論を出し、町内と協議するようなスケジュール感で考えている。
- ・ 出前講座の内容、申し込み状況については、出前講座は市職員出前講座の一環で、町内会や団体で申し込みがあった場合に行うもので、現在のところ計画はない。内容については、申し込みの要望に合わせて調整する。
- ・ 「自転車の活用」は、過度な自動車依存からの脱却、モビリティマネジメントの観点から講座に入れている。

(熊本運輸支局：岩本委員)

- ・ 公共交通の観点から推進していこうというので入っているとうことですね。過去の公共交通の出前講座でどういったことをしたか事例を教えてほしい。

(事務局)

- ・ 過去2、3年申込みがない。職場単位、団体でも申し込みできるが、活動内容が年間スケジュールに合わないところがある。

(熊本運輸支局：岩本委員)

- ・ 熊本市は、一生懸命していて、バス会社のバスを集めて、校庭に持って来て、乗り方教室をやっている。小学4年生が一番良いと言われていて、家に帰って公共交通の話をするのはだいたい4年生くらいまで。5年生になったら自我が目覚めて、親子の会話が限定的になる。3、4年生だと目を輝かせて学校での出来事を話す傾向にあるので、だいたい3、4年生を目途に乗ってICカードの使い方やバスのルール、身障者のための底床バスの出し入れには時間がかかるので待つてあげないといけないといったマナーを経験してもらって、バスがどれだけ環境に良いか、自家用車を使うと交通渋滞を招くといったこと踏まえながら熊本市がやっている。山鹿市が網計画を作ったが、同じようにバスの乗り方教室をやっている。また、長崎の長崎バスは、老人会に、イベントとして楽しくバスの乗り方に慣れ親しんでもらっている。

人吉市は応募式なので、なにができるのかといったものがあつた方が良いと思い、参考に話をさせていただいた。

(松田会長)

- ・出前講座にはいくつかメニューがあり、広報で市民にお知らせして担当部署が行って説明するようにしている。今説明いただいたようなことを参考に組み立てていきたい。

(事務局)

- ・今年度は宝来町の老人会で、肥薩線の価値と利用促進に関する講座を行っている。

(熊本運輸支局：岩本委員)

- ・事務局も一生懸命やっているのですが、こういった場で共有してもらえるとより盛り上がっていくと思う。

(人吉市老人クラブ連合会：三倉委員)

- ・出前講座について、人吉市地域公共交通活性化が設立されて2、3年たって、路線バスの再編があつた時に、運行経路について老人クラブで説明してもらつたことがある。
- ・人吉ICの駐車場の確保のことだが、現在澤田不動産さんの駐車場があるが、そのことか。それとは別に熊本市みたいに、グランメッセのような公共的なものを指しているのか。
- ・高齢者の免許返納について、希望が多いのはドアツードアの移動システムについて早く検討して案を示してほしいという声があるのでよろしく願ひしたい。

(事務局)

- ・人吉IC利用者に対するパーク＆バスライド駐車場の確保については、ご承知のとおり澤田不動産様が大規模な駐車場を1日300円で運営している。市も側道沿いに6台程度の無料駐車場を確保している。6台のため、面積的に常に満車の状態だが、今後無料で貸し続けるのはいかがなものかといった議論もあつているところで、市の財政も厳しいため、公共施設の有効活用、売却を踏まえたところで議論を進めて行く必要があると考えている。高速バスを利用になる方の駐車場については、民間事業者様のお力も借りながら、若干の費用を負担していただくことを考えながら進めて行く必要があると考えている。また、駐車場の利用ができなくて困つたとの市民からの投書もあつており、スムーズに利用できるよう関係業者と協議していきたい。
- ・ドアツードア運行については、高齢者や路線バスや乗合タクシーの停留所から遠方の方には特にご不便をおかけしており、検討すべき課題であると認識している。しかし、タクシー事業者様にはご理解いただいているとは思ふが、家まで行くため定時性が確保できないことが第一点目にある。予約型乗合タクシーとドアツードア運行を併用していく場合には、時間の約束ができないため、実証運行の際にはご不便をかけ、ご不満の声をいただいている。タクシー運行とドアツードア運行の住み分けについても今後運行事業者様と協議していく必要がある。利用者の意見を加味しながらも、運行事業者様、予算の伴うことなので財政的な面も含めて議論を深めて行きたい。結論めいた話ができず恐縮だが、一定の時期に皆様にお示ししたい。

(人吉市老人クラブ連合会：三倉委員)

- ・人吉ICの駐車場は満車状態にあるので、将来的に検討していただきたい。
- ・公共交通のマップの作成については、どの時点かでマップを作つて皆さんに示されるのか。今年度中にマップを提示するのか。

(事務局)

- ・人吉市には、路線バス、乗合タクシー、JR肥薩線、くま川鉄道と多くの交通事業者がいる。

これの一つにまとめると、文字が小さくなる、サイズが大きくなったりと課題がある。色々な自治体でマップの作成がされているので、情報収集をしている。情報収集をして形としてまとまったら、ご提示し、事業費を計上し作成したい。

(人吉市予約型乗合タクシー運行事業者：北委員)

- ・免許返納の話が出ているが、人吉においては過去５年で６８５人の免許返納者が出ている。人吉警察署の発表だが、平成２６年が８７名、平成２７年が９４名、平成２８年で１２７名、平成２９年が１８０名、平成３０年が１９７名と年々免許返納者が増えている状況。免許を持っている人からすればごくわずかかもしれないが、年々免許返納者が増えている。

東京交通新聞に東京大学の鎌田実教授が発表している論文の中で、免許返納後の足の確保をしないと、認知症の発症率が高くなるという話で、早急に免許返納後の足の確保、二次交通の確保の対策を打たないと、ひいては医療費、介護費用の負担になる。福岡県の取組みで、免許返納者に対して、タクシー利用券の３万円を出しているところもある。手前味噌だが、当社で「親孝行タクシー」に取り組んでいる。熊本県の経営革新事業に認定され、現在ものづくり補助金いただきながら取り組んでいる。子どもが親の交通費を見るということで、現在数名の方が利用しており、この事業には税金の投入は必要ない。子どもさんが一律お父さんのタクシー代を見て、お父さんは３００円だけ出して、子どもが３人で残りを割り勘しようというような取り組みをやっているところ。税金の投入がなくても、民間でもすることがので、早く取り組みをお願いしたい。

(松田会長)

- ・色々な情報をいただきありがとうございます。「親孝行タクシー」はふるさと納税のメニューの一つでもある。

(熊本県人吉警察署交通課：富田係長)

- ・高齢者の免許の自主返納について話が出ているので、少しお話させていただく。ご存知のとおり、池袋で高齢者がブレーキとアクセルを踏み間違えたのではないかとということで、捜査が進められており、大きくニュースになった。福岡でもアクセルとブレーキを踏み間違えてお亡くなりになる大きなニュースが出ている。報道以降も免許返納者が増えているし、子どもさん等からの問い合わせも増えている。警察としても、強制的に免許を取り上げる場合は、一定の条件、病気や違反が絡まないとできないため、自主返納を促す地道な電話や訪問をしているが、買物や病院に行く足がないため二の足を踏む方が多くいる。公共交通活性化という取組みは良い取組みではあるが、みなさんへの周知が少ない。高齢者も取組みを知っていれば、利用して免許を自主返納しようという考えにつながって行くのではないかと思いますので、周知していただいて、警察としてもチラシがあれば窓口に置いて、自主返納をより進めやすくなる。周知する方法を早く構築して、より多くの方が目にするような取り組みを早急にしていただければ、良い流れになると思う。

(人吉球磨タクシー協会：田中委員)

- ・北委員にご提案いただいたことから一歩進んで、色んなご意見をいただいたように時代がごろっと変わっている状況で、実証運行の結果は示されたとおりで、先ほどのご提案に一歩踏み込んで、タクシーで予約してドアツードアの所、ドアから公共交通機関への移送という実証実験はいかがなものか。費用がかかることなので、国、県、市で、永野、大畑地区だけではなく、球磨郡でもそういった場所があり、大変な問題。現実には、お年寄りの方を働いている方が送り

迎える状況は、労働生産性も悪い。その点を一步前に進んでご検討いただければありがたい。

(事務局)

- ・永野地区、大畑地区に限らず、産交バスさんに運行していただいている路線バス等についても、利便性を図って行くことが大事で、市全体の公共交通の観点から検討していくべき課題である。

(人吉医療センター：西山委員)

- ・前回の協議会で、人吉医療センターへの乗り入れがニーズが高いということで20便から増便していただいた。現状何便になっているか、教えていただきたい。当院としても来院しやすいようにホームページに交通の案内をしている。今後、産交バスとしてアナウンスをどのようにするか方向性をお聞きしたい。

(産交バス株式会社：村口委員)

- ・4月1日のダイヤ改正で西村経由の全便が、人吉医療センターを経由するようになった。ご利用の方は増えている。便数は今分らないので、後で報告するが、先ほどご提案があったように、乗合タクシーからバスに乗ってもらって、バスで病院に行ってもらうのが理想。産交バスとしても、免許返納をして、警察で証明書をもらえば、運賃が半額になる免許返納者割引乗車証を発行している。公共交通会議で免許返納者割引乗車証の説明をするが、人吉球磨で300名強先ほど免許返納者割引乗車証を発行しているので、今後宣伝してもらって、乗合タクシーからバスに乗る人を増やしていきたいと思っているので、ご協力いただきたい。

(人吉市町内会長嘱託員連合会：竹田委員)

- ・市内の町内会長の代表として今回初めての出席。こういった会議だろうと期待して来た。昨年度の事業報告で永野地区と大畑地区で実証運行があったと報告があったが、両地区とも遠隔地だが、市街地であっても、「足がなくなる」という同じ悩み。もうちょっとあそこにもあったら利用するという話をよく聞く。指摘があったとおり、昨年実施されたものでどういう意見があったかに関心があるので、その結果を出していただきたい。
- ・予算の中で、会議費が昨年は実績37,000円ということで、今年度はそれ以上の予算額が計上してある。内訳で旅費とか付けてあるが何か計画があるのか。

(事務局)

- ・一点目の意見については、次回以降お示ししていきたい。
- ・二点目の会議について、旅費は遠方から来る委員がいるため、その交通費として計上。予算については、前年度は1回の開催だったが、今年度は延べ4回程度の会議開催を想定して計上している。

(人吉市町内会長嘱託員連合会：竹田委員)

- ・提案のあったように、公共交通機関プラスタクシー、ドアツードアの方に積極的に提案があれば良いと思う。

(産交バス株式会社：村口委員)

- ・4月1日のダイヤ改正で、五木村の頭地で産交バスがストップしたが、つばめタクシーさんとの協議の中で、リレーバスという形でバスに引き継いでもらっており、前年度よりお客様が増えている。つばめタクシーさんから提案をもらって、全便バスダイヤに合わせており利用者が増えているというご報告。

以上